

別紙13-3

例 3 本社は、得意先から売掛金¥450,000を小切手で受け取った。

例 4 工場において、素材¥260,000を直接材料費として消費した。

例 5 本社は、素材¥320,000を掛けて仕入れ、仕入先から工場に直送させた。

例3,4,5で、工場会計の独立①について確認しましょう。

別紙13-4

例 6 工場会計が独立している場合、次の仕訳を示しなさい。

〈取引〉

① 本社は、素材¥450,000を掛けて仕入れ、工場に直送させた。

② 工場は、本月分の労務費の支払いについて、次のように本会社に報告した。

労務費に関する報告書	
基本賃金	1,400,000
諸手当	<u>200,000</u>
計	1,600,000
控除額	
所得税	160,000
健康保険料	<u>100,000</u>
差引正味支払額	<u>1,340,000</u>

例6で、工場会計の独立②について確認しましょう。

別紙13-5

原価計算 練習問題解答用紙

第13章

	学年	組	番
名前			

1.

製造原価報告書

I 材 料 費

1. 期首材料棚卸高	()	
2. 当期材料仕入高	()	
合 計	()	
3. 期末材料棚卸高	()	
当期材料費		()

II 労 務 費

1. 基 本 給	()	
2. 諸手当・福利費	()	
当期労務費		()

III 経 費

1. 外注加工賃	()	
2. 電 力 料	()	
3. ガ ス 代	()	
4. 減 価 償 却 費	()	
5. 保 険 料	()	
当期経費		()
当期製造費用		()
期首仕掛品棚卸高	()	
合 計	()	
期末仕掛品棚卸高	()	
当期製品製造原価		()

別紙 1 4 - 1

例 1 次の A 製品の標準原価カードと 1 か月間の実際生産量のデータにより，完成品の標準原価と月末仕掛品の標準原価を計算しなさい。ただし，直接材料は製造着手のときにすべて投入されるものとする。

① 標準原価カード

A 製品	標準原価カード		
	標準単価	標準消費数量	金額
直接材料費	¥ 10	2kg	¥ 20
直接労務費	標準賃率	標準直接作業時間	
	¥ 20	2時間	¥ 40
製造間接費	標準配賦率	標準直接作業時間	
	¥ 10	2時間	¥ 20
	製品 1 個あたりの標準原価		<u>¥ 80</u>

例1で，完成品と月末仕掛品の標準原価の計算について確認しましょう。

別紙 1 4 - 2

例 2 209ページの例 1 の標準原価カードと生産データにより，当月投入量に対する標準原価を計算しなさい。

例2で，当月投入量に対する標準原価の計算について確認しましょう。

別紙14-3

原価計算 練習問題解答用紙

第14章

	学年	組	番
名前			

1.

①	ア		イ	
②	ウ			
③	エ		オ	

2.

完成品原価

--

月末仕掛品原価

--

当月投入量に対する標準原価

--

別紙 15 - 1

例 1 210ページの例 2 で計算した当月投入量に対する標準原価 ¥77,600 と、次の当月製造費用の実際発生額を比較して、原価差異を計算しなさい。

〈当月製造費用の実際発生額〉

直接材料費	¥22,330	直接労務費	¥41,160	製造間接費	¥23,520
合 計	¥87,010				

例1で、原価差異の計算について確認しましょう。

別紙 15 - 2

例 2 次の A 製品の資料から、直接材料費差異の分析をしなさい。ただし、直接材料は製造着手のときにすべて投入されるものとする。

①標準原価カード

A製品	標準原価カード		
	<u>標準単価</u>	<u>標準消費数量</u>	<u>金額</u>
直接材料費	¥10	2 kg	¥20

例2で、原価差異の分析について確認しましょう。

例 3 次の A 製品の資料から、直接労務費差異の分析をなさい。

①標準原価カード

A製品			
<u>標準原価カード</u>			
	<u>標準賃率</u>	<u>標準直接作業時間</u>	<u>金額</u>
直接労務費	¥20	2時間	¥40

例3で、直接労務費差異について確認しましょう。

例 4 次の A 製品の資料から、製造間接費差異の分析をなさい。

なお、公式法変動予算を採用している。

①標準原価カード

A製品			
<u>標準原価カード</u>			
	<u>標準配賦率</u>	<u>標準直接作業時間</u>	<u>金額</u>
製造間接費	¥10	2時間	¥20

②製造間接費予算

月間の基準操業度(直接作業時間) 2,000時間

基準操業度における製造間接費予算額 ¥20,000

(変動費率 ¥4 固定費予算額 ¥12,000)

例4で、公式法変動予算の場合について確認しましょう。

別紙 15 - 5

例 5 例 4 の資料を用いて、固定予算を採用した場合の製造間接費差異の分析をなさい。

例5で、固定予算の場合について確認しましょう。

別紙 15 - 6

例 6 これまで学習してきた各例題の資料と解答にもとづいて、パーシャル・プランで記帳する場合に必要な仕訳を行い、各勘定に転記をなさい。

例6で、パーシャル・プランについて確認しましょう。

例 7 例 6 をシングル・プランで記帳する場合に必要な仕訳を行い、各勘定に転記しなさい。

例 7 で、シングル・プラン①について確認しましょう。

例 8 次の A 製品の資料から、シングル・プランによって記帳する場合の仕訳を示し、各勘定に記入しなさい。なお、公式法変動予算を採用している。

① 標準原価カード

A製品			
標準原価カード			
	標準単価	標準消費数量	金額
直接材料費	¥100	4 kg	¥ 400
	標準賃率	標準直接作業時間	
直接労務費	¥500	2 時間	¥1,000
	標準配賦率	標準直接作業時間	
製造間接費	¥200	2 時間	¥ 400
	製品 1 個あたりの標準原価		<u>¥1,800</u>

例 8 で、シングル・プラン②について確認しましょう。

例 9 次の X 製品の資料により，原価差異を分析し，パーシャル・プランによる勘定記入を示しなさい。ただし，直接材料は製造着手のときにすべて投入されるものとする。また，公式法変動予算を採用している。

① 標準原価カード

X製品			
<u>標準原価カード</u>			
	<u>標準単価</u>	<u>標準消費数量</u>	<u>金額</u>
直接材料費	¥50	2 kg	¥100
	<u>標準賃率</u>	<u>標準直接作業時間</u>	
直接労務費	¥50	3 時間	¥150
	<u>標準配賦率</u>	<u>標準直接作業時間</u>	
製造間接費	¥40	3 時間	¥120
	製品 1 個あたりの標準原価		<u>¥370</u>

例9で，記帳と分析の例示について確認しましょう。

別紙 15 - 10

原価計算 練習問題解答用紙

第 15 章

	学年	組	番
名前			

1.

直接材料費差異

--

材料消費価格差異

--

材料消費数量差異

--

2.

直接労務費差異

--

賃率差異

--

作業時間差異

--

例 1 次の資料により、A製品を5個製造した場合と10個製造した場合に分け、いずれの場合もすべて販売したとして損益計算書を全部原価計算の場合と直接原価計算の場合に分けて作成しなさい。

- ㊦ 変動製造費(製品1個あたりの直接材料費・直接労務費・変動製造間接費) ¥300
- ㊧ 変動販売費(製品1個あたり) ¥100
- ㊨ 固定製造間接費 ¥4,000
- ㊩ 固定販売費及び一般管理費 ¥800
- ㊪ 販売単価 ¥1,000

例1で、直接原価計算による損益計算書について確認しましょう。

別紙16-2

原価計算 練習問題解答用紙

第16章

	学年	組	番
名前			

1.

	4 月	5 月
売上高	()	()
変動売上原価	()	()
変動製造マージン	()	()
変動販売費	()	()
貢献利益	()	()
固定費	()	()
営業利益	()	()

2.

	<u>損益計算書</u>	
I 売上高		()
II 変動売上原価		()
()		()
III 変動販売費		()
()		()
IV 固定製造間接費	()	
固定販売費及び	()	()
一般管理費		
営業利益		()

別紙 17 - 1

例 1 次の資料によって、営業利益が零(0)となるときの売上高と変動費を計算しなさい。

㉞販売単価 ¥1,000 ㉠製品 1 個あたりの変動費 ¥400

㉡固定費 ¥4,800

例 2 例 1 において、目標とする営業利益 ¥3,000 を達成するために必要な売上高を計算しなさい。

例 1,2 で、CVP 分析①について確認しましょう。

別紙 17 - 2

例 3 次の資料によって、①貢献利益、②損益分岐点における販売数量、③目標営業利益 ¥91,000 を達成するための売上高を計算しなさい。

㉞販売単価 ¥200 販売数量 1,000 個

㉠製品 1 個あたりの変動費 ¥60

㉡固定費 ¥84,000

例 3 で、CVP 分析②について確認しましょう。

別紙17-3

原価計算 練習問題解答用紙

第17章

	学年	組	番
名前			

1.

損益分岐点の売上高

--

目標利益¥300,000をあげるために必要な売上高

--

発展学習：原価予測の方法

単位あたり変動費

--

月間固定費

--

別紙 18-1

ADVANCE 1 「原価と費用は同じ？違う？」 ワークシート（原価計算新訂版教科書 p.272,273）
 []年[]組[]番 名前[]

★Let's think④ 販売員の給料や広告販売費などの販売費は、原価になるでしょうか？

【先生からのアドバイス】
 ①アウトプット（給付）にかかわらずに経済的資源の消費高を把握するのが原価計算です。
 ②アウトプット（給付）を部門としたときは、第1製造部門費や修繕部門費も原価となります。



	どちらかに○を付けましょう	そのように考えた理由を記入しましょう
販売員の給料や 広告販売費などの 販売費	原価になる ・ 原価にならない	

グループになって他の人の意見を聞き、気づいたことがあれば書き込みましょう。

別紙 18-2

ADVANCE 2 「製品 1 個あたりの製造原価はどうすれば下がるのか？」 ワークシート（原価計算新訂版教科書 p.274,275）
 []年[]組[]番 名前[]

★Discussion④ 製品 1 個あたりの実際作業時間を減らすために、企業はどのような工夫をしているか考えよう。

【先生からのアドバイス】
 ①人材は企業にとっても重要な財産なので、安易に賃率は下げられません。
 ②効率的に作業をして、実際作業時間を減らす工夫に注目しましょう。



	どんな工夫があるか考えてみましょう
①	
②	
③	

グループになって話し合い、他の人の意見を聞き込みましょう。

別紙 18-3

ADVANCE 3 「どんな原価計算があったっけ？」 ワークシート (原価計算新訂版教科書 p.276,277)

[]年[]組[]番 名前[]

★Work④ 各製品が、教科書でどの単元の原価計算で例としてあげられていたか確認しましょう。

【先生からのアドバイス】

①原価計算は生産形態の違いによって、個別原価計算と総合原価計算に分けられます。
 ②個別原価計算には単純個別原価計算、部門別個別原価計算がありました。
 総合原価計算には単純、等級別、組別のほかに、工程別総合原価計算があります。

<p>・キャンディとチョコレート</p> 	<p>・船</p> 
<p>・パン</p> 	<p>・Yシャツ</p> 
<p>・小麦粉</p> 	

別紙 18-4

ADVANCE 4 「製造間接費について振り返ろう」 ワークシート (原価計算新訂版教科書 p.278,279)

[]年[]組[]番 名前[]

★Let's think① 第4章から第6章を振り返り、製造間接費の具体的な例をあげましょう。

【先生からのアドバイス】

①特定の製品に直接集計することが難しい原価要素を製造間接費といいます。
 ②製造間接費には配賦という手続きが必要です。

教科書を確認して、製造間接費の具体的な例を記入しましょう。

グループになって他の人の意見を聞き、気づいたことがあれば書き込みましょう。

別紙 18-5

ADVANCE 5 「製造現場が管理できる差異って何だろう？」 ワークシート (原価計算新訂版教科書 p.280,281)

[]年[]組[]番 名前[]

★Let's think④ 材料消費改善差異や作業時間差異は、製造現場で管理できるのか考えてみましょう。

【先生からのアドバイス】

①材料消費価格差異と賃率差異は、製造現場では管理不能な差異です。
②差異が発生する原因や状況について考えてみましょう。



	製造現場で管理できるのか どちらかに○を付けましょう	そのように考えた理由を記入しましょう
材料消費価格差異は…	管理可能 ・ 管理不能	
賃率差異は…	管理可能 ・ 管理不能	

グループになって他の人の意見を聞き、気づいたことがあれば書き込みましょう。

別紙 18-6

ADVANCE 6 「CVP 分析で文化祭を成功させよう」 ワークシート (原価計算新訂版教科書 p.282,283)

[]年[]組[]番 名前[]

【資料】

ポップコーンの売上高データ

	売上高	売上数量	製造原価	利益
X8年度	¥100,000	1,000袋	¥30,000	¥70,000
X7年度	¥80,000	800袋	¥28,000	¥52,000
X6年度	¥120,000	1,200袋	¥32,000	¥88,000

その他のデータ

- ・機械レンタル代 ¥20,000
- ・その他費用はポップコーン豆、塩、袋の仕入れ代
- ・つくるのが遅い付かないときがある。
- ・機械が動かなくなると30分ぐらいつくれない。

チョコバナナの売上高データ


	売上高	売上数量	製造原価	利益
X8年度	¥150,000	1,500本	¥73,000	¥77,000
X7年度	¥140,000	1,400本	¥65,000	¥75,000
X6年度	¥160,000	1,600本	¥78,000	¥82,000

その他のデータ

- ・主な費用はバナナ、チョコレート、割りばしの仕入れ代
- ・最初はつくるのに時間がかかるが、慣れると速い。
- ・つくる人数は多い方がよい。

【先生からのアドバイス】

①まずは資料を確認して、じっくり考えてみましょう。
②ポップコーンの機械は、止まってしまうときがあります。
③チョコバナナは、つくるのに人数が必要になります。



原価計算基準（全文）

原価計算基準の設定について

わが国における原価計算は、従来、財務諸表を作成するに当たって真実の原価を正確に算定表示するとともに、価格計算に対して資料を提供することを主たる任務として成立し、発展してきた。

しかしながら、近時、経営管理のため、とくに業務計画および原価管理に役立つための原価計算への要請は、著しく強まってきており、今日、原価計算に対して与えられる目的は、単一ではない。すなわち、企業の原価計算制度は、真実の原価を確定して財務諸表の作成に役立つとともに、原価を分析し、これを経営管理者に提供し、もって業務計画および原価管理に役立つことが必要とされている。したがって、原価計算制度は、各企業がそれに対して期待する役立ちの程度において重点の相違はあるが、いずれの計算目的にもともに役立つように形成され、一定の計算秩序として常時継続的に行なわれるものであることを要する。ここに原価計算に対して提起される諸目的を調整し、原価計算を制度化するため、実践規範としての原価計算基準が、設定される必要がある。

原価計算基準は、かかる実践規範として、わが国現在の企業における原価計算の慣行のうちから、一般に公正妥当と認められるところを要約して設定されたものである。しかしながら、この基準は、個々の企業の原価計算手続を画一に規定するものではなく、個々の企業が有効な原価計算手続を規定し実施するための基本的なわくを明らかにしたものである。したがって、企業が、その原価計算手続を規定するに当たっては、この基準が弾力性をもつものであることへの理解のもとに、この基準のとり、業種、経営規模その他当該企業の個々の条件に応じて、実情に即するように適用されるべきものである。

この基準は、企業会計原則の一環を成し、その

うちとくに原価に関して規定したものである。それゆえ、すべての企業によって尊重されるべきであるとともに、たな卸資産の評価、原価差額の処理など企業の原価計算に関係ある事項について、法令の制定、改廃等が行なわれる場合にも、この基準が十分にしん酌されることが要望される。

昭和三十七年十一月八日 企業会計審議会

第一章 原価計算の目的と原価計算の一般的基準

一 原価計算の目的

原価計算には、各種の異なる目的が与えられるが、主たる目的は、次のとおりである。

- (一) 企業の出資者、債権者、経営者等のために、過去の一定期間における損益ならびに期末における財政状態を財務諸表に表示するために必要な真実の原価を集計すること。
- (二) 価格計算に必要な原価資料を提供すること。
- (三) 経営管理者の各階層に対して、原価管理に必要な原価資料を提供すること。ここに原価管理とは、原価の標準を設定してこれを指示し、原価の実際の発生額を計算記録し、これを標準と比較して、その差異の原因を分析し、これに関する資料を経営管理者に報告し、原価能率を増進する措置を講ずることをいう。
- (四) 予算の編成ならびに予算統制のために必要な原価資料を提供すること。ここに予算とは、予算期間における企業の各業務分野の具体的な計画を貨幣的に表示し、これを総合編成したものをいい、予算期間における企業の利益目標を指示し、各業務分野の諸活動を調整し、企業全般にわたる総合的管理の要具となるものである。予算は、業務執行に関する総合的な期間計画であるが、予算編成の過程は、たとえば製品組合せの決定、部品を自製するか外注するか等の決定等個々の選択的事項に関する意思決定を含むこ